

わが家の結びタイム三行詩

コンクール入賞作品

どの作品も情景が
 浮かんでくるような
 ステキな三行詩です
 心がほっこりしたり、
 胸がじんとしたり…
 ゆっくりとご覧下さい



特選作品

わたしはママのおてつだいがだいすき
 だってじょうずになったね、すごいねと
 だきしめてほめてくれるのが
 うれしいから
 こんどはわたしがママをだきしめて
 ほめてあげるね！

小学校の部 龍江小一年 熊谷美音
 低学年

誕生日 いつも
 「おめでとう」って言うってくれる
 だから私は
 「生んでくれてありがとう」
 「育ててくれてありがとう」って
 言いたいな

小学校の部 千栄小六年 藤本心美
 高学年

反抗期
 それが過ぎたら反省期
 伝えよういつも言えない「ありがとう」

中学校の部 遠山中三年 佐藤すずな

「ねえ お母さん」
 習い事帰り、車から玄関までの
 ちよっとだけ「手つなごう」
 弟妹がいないうちよっとだけの時間。
 まだ甘えたい僕の時間。

一般の部 富田砂織

入選作品

ストーブよりも
 あたたかい
 かあさんのぎゅう!!

小学校の部 千栄小三年 知念暖大
 低学年

おじごととおいのかえって
 きてくれてありがとう。
 おとうさんとたくさんあそべて
 学校の話もできてうれしいな。
 ぼくのすきな時間だよ。

小学校の部 松尾小二年 山本翔也
 低学年

いつてらっしゃい！と家族みんなが
 手をふり送ってくれる
 てれくさくていつもかた手をあげる
 ぼくだけと
 心の中では大きな声でいつてきます

小学校の部 龍江小三年 熊谷奏音
 低学年

みんなでかこんだ
 しょくたくは
 きょういちにちの報告云

小学校の部 座光寺小六年 萱間春陽
 高学年

1人で、はいるこたつは、
 静かでおちつく。
 だげとみんなではいると
 にぎやかで、もっと、あったかい。
 私はやっぱりこたつが好き

小学校の部 山本小五年 上沼夏帆
 高学年

車内では家族の会話が深まる時間
 今日の出来事うれしかった事
 ほんの少しの間だけと
 家族の心が温まる大切な結びタイム

小学校の部 山本小五年 市村優直
 高学年

思春期は
 たった文字の
 ありがとう
 それも言えない
 おそろしい。

中学校の部 旭ヶ丘中一年 山浦朋葉

お母さんが
 教えてくれた豆知識
 前も聞いたよその話
 でも話すが楽しくて
 今日私には知らんぷり

中学校の部 緑ヶ丘中二年 今村杏珠

「おはよう」
 反抗期だった兄が、どんなに不機嫌な
 日でも必ず言うていたことば。
 あいさつは
 言えない「ありがとう」や「ごめん」を
 届けてくれるんだ

中学校の部 緑ヶ丘中二年 茂手木奈月

手伝いを頼むと
 「え〜」と言っていた小学生
 中学生になって
 黙って祖母の手助けをする姿に
 「お〜」

一般の部 小林奈緒美

中学生
 「子供が今や「親友」で
 女同士で
 花咲くおしゃべり

一般の部 山口かほり

「手伝って」の言に
 子どもが2人かけてきて
 どっちがやるかでケンカする
 頭は痛い、心はうれしくて
 あたたかいそんなひと時

一般の部 飯沼直美

佳作作品

ほくがうたつたおかあさんのうた。
 おかあさんときどきスマホで
 こっそりみてるんだって
 ほんとかな〜

小学校の部 上郷小二年 高野和史
 低学年

わたしのおきにいのえほん
 ねえねにたくさん
 よんでもうたえほん
 こんどはわたしがもうとに
 よんであげよう

小学校の部 山本小一年 折井 董
 低学年

手をつなごう
 手をつなごう
 つないだ手、あたたかくてほっとする
 わがやの寝る前
 結びタイム

小学校の部 伊賀良小一年 宮下 柑菜
 低学年

おとうさんは、
 みんながねるときにかえってくる。
 てつだいたいけど
 ねないといけないからつたえない。
 やすみのときはちよっとしかないけど、
 そのときつたうよ。

小学校の部 竜丘小二年 熊谷柚希
 低学年

私が「おはよう」
 おばあちゃんが「おはよう」
 それが一日はじまり

小学校の部 下久堅小三年 尾曾美鈴
 低学年

家族みんなの
 「おはよう」の言葉が
 眠気をあつという間に
 ふきとほす
 今日の朝もスタートダッシュが
 決まったぞ！

小学校の部 上郷小四年 林旺史朗
 高学年

兄弟3人入るお風呂
 さわがしくて、きょうつただけと
 心と体は温まる

小学校の部 浜井場小六年 小池光誠
 高学年

川の字で
 私のハンチ
 くらうんだ

小学校の部 追手町小四年 寺澤知咲
 高学年

おたんじょう日は家族みんなで
 おいおいしてくれる
 とっても楽しい家族時間。
 大きなケーキを7とう分
 これがとつてもむずかしいんだ

小学校の部 上郷小四年 野口瑛仁
 高学年

家族との
 百人首
 ようしやなし
 でもいつのまにか笑える。

小学校の部 竜丘小六年 小室奈々
 高学年

タブレット
 会話を減らす
 魔の道具
 たまには距離をあけてみよう

中学校の部 竜東中二年 松村 怜

後ろを振り返れば家族がいる
 前を向けば支えられて
 はじめて未来がみえる
 今日も私は未来に向かって歩き出す

中学校の部 緑ヶ丘中二年 松下愛依

母親に
 「ありがとう」と
 言いたいが
 気恥ずかしくて
 心の中でつぶやいた

中学校の部 竜東中二年 平澤琉南

「つかれたな」は母の心が読めてきた。
 あとはまかせて、洗たく、そうじ
 あとちよっと
 でもおわらない。
 今度は、母があとはまかせて。

中学校の部 緑ヶ丘中二年 神谷蒼生

犬あくひ
 家族にうつり大感染
 今度は笑顔の花が吹き
 幸せいっぱい感染病

中学校の部 飯田東中三年 児島由依

子供でも大人でもないその声で
 続けて欲しい
 「おはよう」のひと言

一般の部 小池 綾

「たいたいま」
 「おかえり」
 「今日、学校どうだった？」
 「楽しかった！」
 その言葉に安心

一般の部 酒井正也

コロナ禍の運動不足解消に
 家族ではじめたダンス
 子より頑張り踊る親

一般の部 宇野良博

だんだんと近づいてくる息子の背
 いつ抜かれるか
 素直に楽しみな息子と
 楽しみ&複雑な母

一般の部 小澤貴美恵

バドミントンの親子対決
 また負けないよ
 野球ではいつの間にか追い越されたから
 手加減せずに、本気でスマッシュ
 「強くなったなあ〜」つ負けを認めるのは
 楽しみたいけど、まだまだ先伸ばしするよ

一般の部 平岩美代子

